

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	中島ゼミⅡ	<b>チーム名</b>	ホームレス大学生
<b>タイトル</b>	ホームレスの実態		
<b>テーマ群</b>	c)公共経済 f)歴史・思想		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p><b>【動機】</b></p> <p>大阪の JR 天王寺駅西側に天王寺公園があります。ここには一時、100 人以上とされたホームレスとブルーシートのテントが多数立ち並んでいました。ところが、近年、天王寺の再開発が進み、日本一の超高層ビル「あべのハルカス」が誕生しました。天王寺公園には「てんしば」というおしゃれな空間が広がり、カフェや遊具施設ができ、ベビーカーを押す家族連れや若者で賑わいます。再開発を通じて美しくなった街並みには、ブルーシートのテントが消失し、ホームレスの人々を目にする機会がめっきり少なくなりました。彼らはいったいどこに行ったのでしょうか？</p> <p><b>【内容・研究方法】</b></p> <p>あいりん地区の日雇労働市場は時代とともに変化しています。昭和の高度経済成長期にかけて、大阪は経済の中心地として発展しました。地方出身の若者は都市部へ流入し、企業の建設需要と日雇労働者の供給が一致し、「寄せ場」という日雇労働市場が形成・発展していきました。しかし、90 年代初頭のバブル崩壊を機に建設需要が激減し、日雇労働者は職を失い、90 年代半ばにはホームレスの増加が社会問題化してきます。こうしたホームレスの増加を受け、政府は 2002 年にホームレス自立支援法を施行します。</p> <p>ホームレスの数という観点からは、厚生労働省による直近の統計データによると、減少傾向が観察されます。これは自立支援法を契機とする行政や支援団体による援助が主因であると結論づけることが出来るものなのでしょうか？単純に、高齢化したホームレスが自然死した可能性も排除することができません。こうしたホームレス減少の原因を探索するためのアプローチとして、我々は、行政機関や支援団体への聞き取り調査などのフィールドワークに加え、統計的なデータ分析も試行する予定です。</p> <p><b>【成果】</b></p> <p>ホームレス減少の背景にうごめく社会・経済的影響について考察する中で、ホームレスを取り巻く今後の動向を占います。我々の研究を通じて、皆さんのホームレスへの関心が高まることを期待しています。</p>		